

令和5年度 桜町小学校 学校評価

アンケート実施日 令和5年11月

アンケート実施者

児童 330名

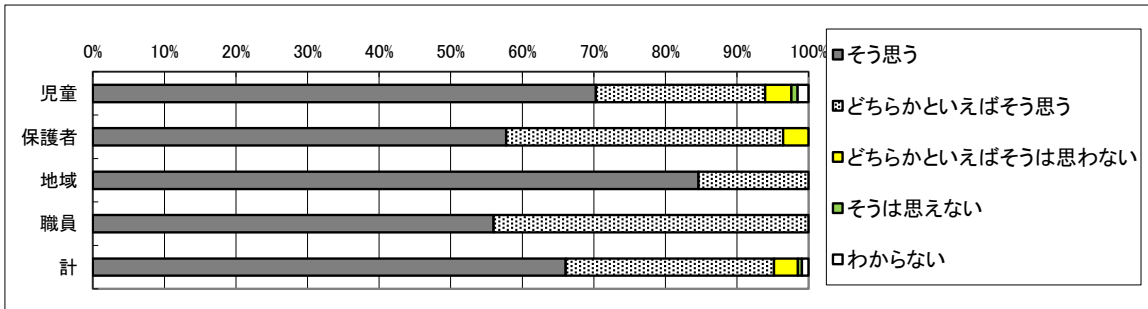
保護者 168家庭

地域 13名 (回収したもので集計)

※未回収+判断できない=原則「わからない」で集計

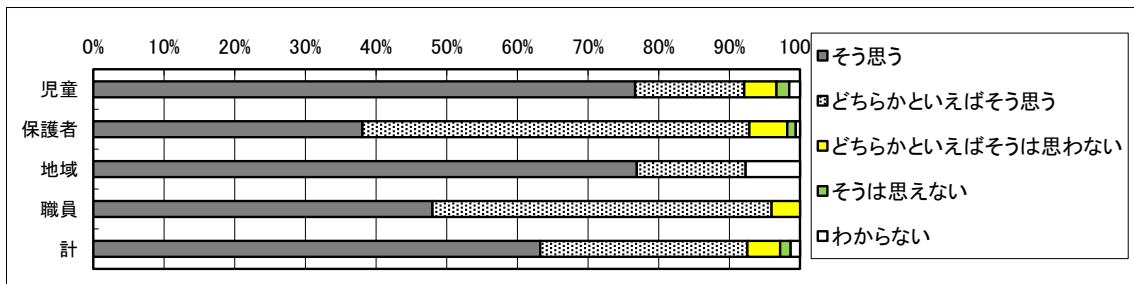
※地域=区役員・民生委員・児童クラブ・保育園

1 入学して（入学させて）よい学校か、通わせるのによいと思われる学校か。



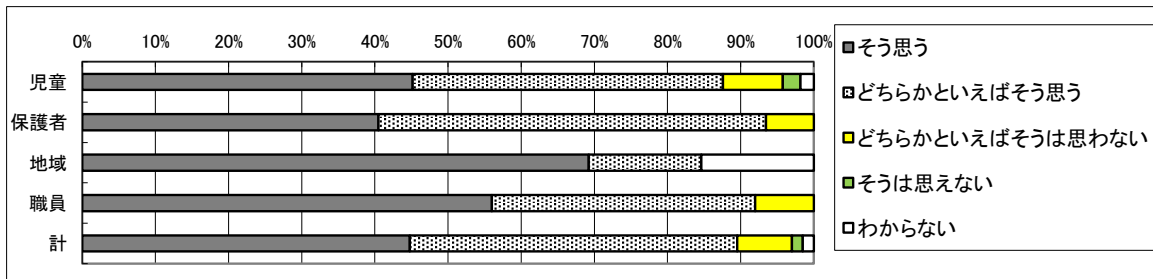
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に回答した割合は、児童・保護者・地域・職員4者とも高い。特に児童の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合は上昇している。昨年度より良い印象をもってきていることは大変うれしい。今後とも保護者や地域の皆様との連携を密にし、児童の健全育成に取り組んでいきたい。

2 ためになる授業、好きな授業がたくさんあったか。（児童） 学校は、学力を伸ばし、かしこくはぐくんできているか。（保護者・地域・職員）



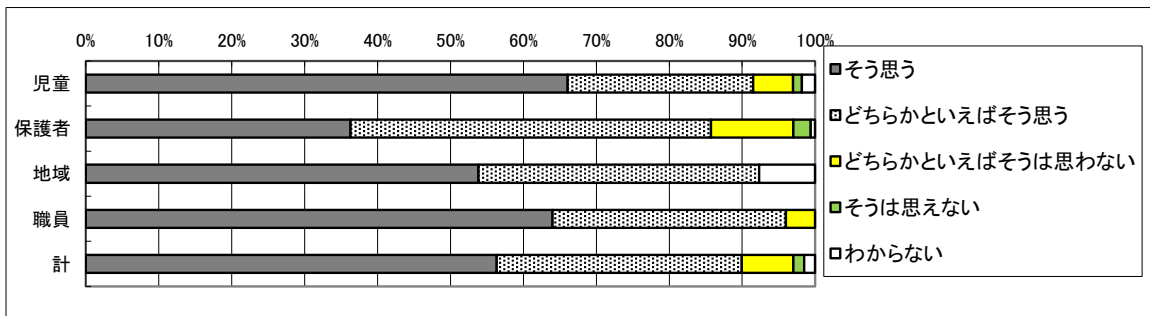
児童、保護者、地域、職員のどれも高い数値を維持しており、昨年度と同程度となっている。今年度も児童の問う力を育むために、考え、話し合う授業を行うことに心がけている。高い数値を維持しているのもその影響が出ていると考えられる。今後も「自ら学びを楽しむ子」の育成につとめ、授業の取り組みを向上させる工夫をしながら、その成果を家庭に伝えていきたい。

3 児童がやさしく・たくましく育っているか。学校は、はぐくんできているか。



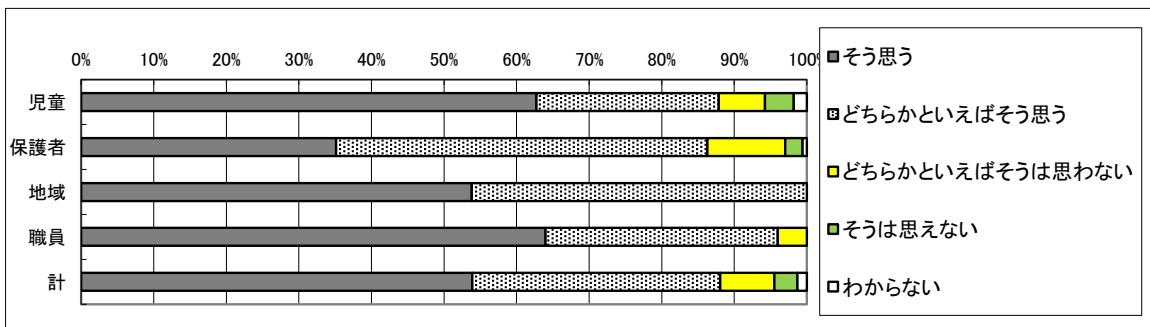
2の設問同様、学校教育目標「やさしく、かしこく、たくましく」に関する項目である。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合は全体的に昨年度と同程度の結果を残している。コロナ5類移行に伴い、徐々に日常生活も少しずつ変化してきた。日々の生活で外で元気よく遊んでいたりと、元気にあいさつをする姿が多くみられるようになってきている。児童が達成感を十分に感じられるように活動の工夫をさらに考えていきたい。

4 わくわくしたり「よかった」と思えることがある学校か。（児童）
 学校は、夢中になれる活動や情操を豊かにする機会を大切にしているか。（保護者・地域・職員）



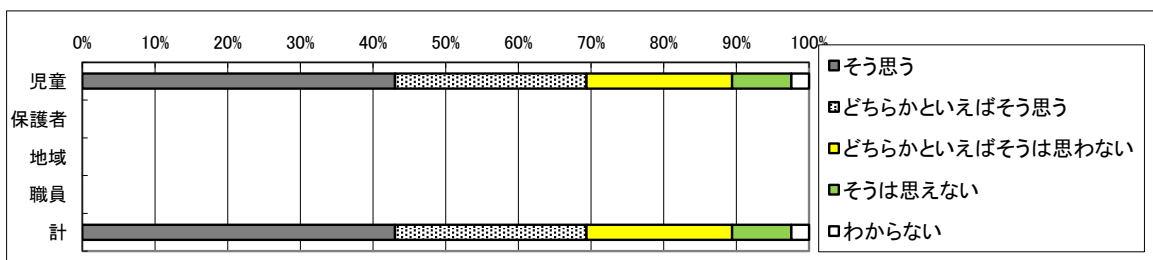
この項目については、肯定的な回答が児童・保護者・職員ともに80%を超えている。昨年度と同程度であるが、児童・保護者の肯定的な回答も増加している。コロナ5類移行によって、学校行事や学年行事をはじめ、学校内外でいろいろな活動が活発に行えるようになってきた。今後も活動内容を検討しながら児童が意欲的に取り組めるようにしていきたい。

5 先生はあなたのことをよくわかってきているか。先生の指導がわかるか。
 教員は児童に応じて適切な願いをもって指導に当たっているか。（保護者・地域・職員）



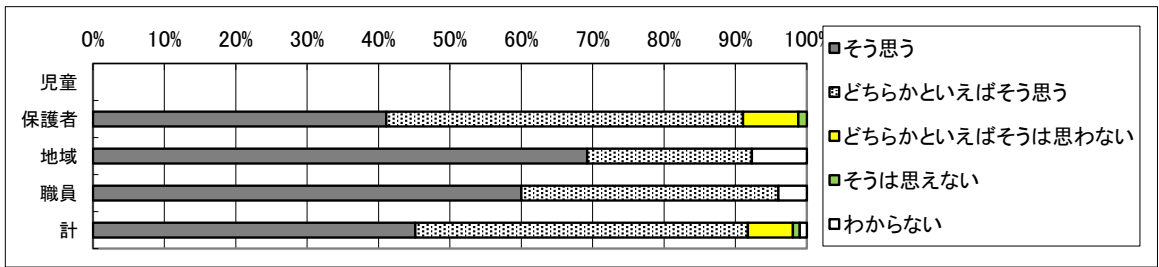
全体的に見て肯定的な回答の割合が昨年度と同程度の結果となっている。児童の肯定的な回答の割合は昨年度よりやや減少をしている。学校では児童の学校の活動の様子を日ごろからよく見て指導や支援している。児童について気になることは、職員間で共通理解を図って対応をし、保護者にも連絡をするようにしている。今後も職員や保護者が連携して取り組めるようにしていきたい。

6A 困ったことを先生に相談できますか。（児童）



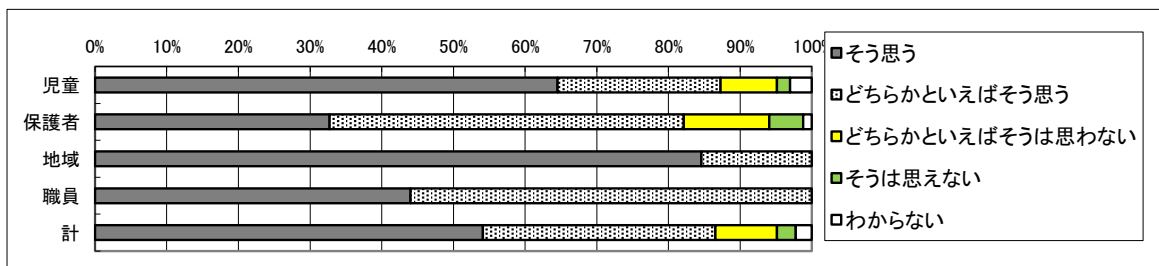
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」との回答は、昨年度より減少している。「そうとは思わない」と答える児童が若干増加していることについては、普段から児童の様子に目を向け、担任のみならず、どんな職員にも相談ができるようにし、児童の声に耳を傾けることができる職員集団でありたい。

6B 学校はわかりやすい授業になるように努めていると思うか（保護者・地域）
わかりやすい授業になるように努めているか（職員）



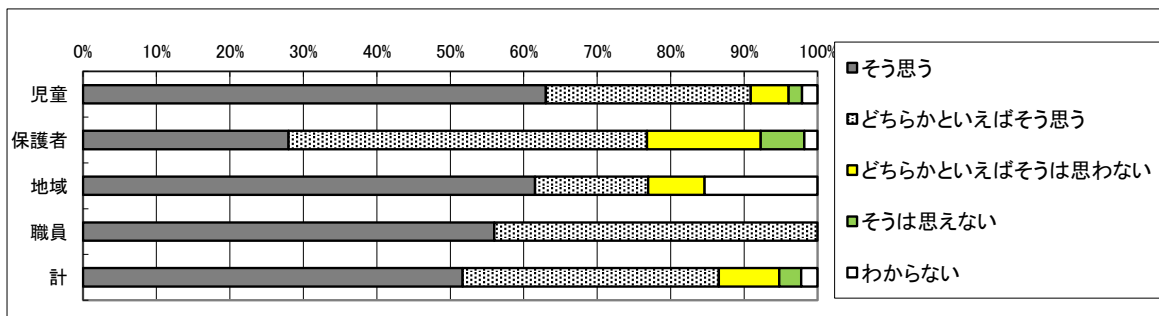
一昨年度、昨年度より肯定的な回答が増加している。研究発表後も現職研修に力を入れてより良い授業の改善に努めている。今後も「自ら学びを楽しむ子」の育成につとめ、その成果を家庭に伝えていきたい。

7 先生は家庭や地域の方と力を合わせてがんばっているか。（児童）
PTAや地域の諸機関との情報の共有や連携を適切にしているか。（保護者・地域・職員）



肯定的回答の割合は、昨年度より減少をしている。PTA実行委員会、学校運営協議会（支援の会）、民生児童委員情報交換会などで、学校の様子や課題について情報を共有したり相談したりしている。6月の水害の影響もあり、本年度は地域における行事等が中止となった。校内では地域の方を講師にした出前講座や見学など積極的に取り組んできた。今後も地域とのかかわりを継続して取り組んでいきたい。

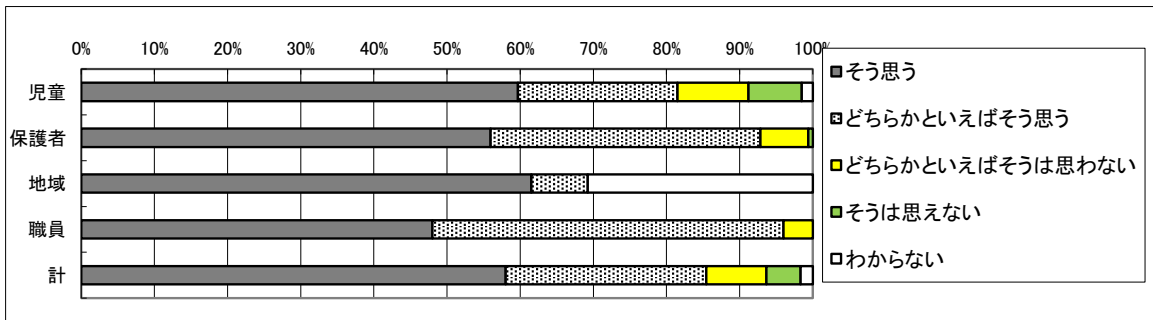
8 学校や先生は、あなたたちの意見や希望を聞いてくれるか。
学校は、子どもや保護者、地域の意見を聞き、その声を学校運営に反映しているか。



全体的にみると、肯定的な回答は昨年度と同程度となっている。児童の肯定的な回答の割合は昨年度より向上しているが、保護者の肯定的な回答の割合は昨年度より減少している。今後も学校での活動の様子を伝える努力をしながら、保護者の意見に耳を傾け、広く意見を求め改善していかなければならない。

9 学校へ来るのがたのしいか。（児童）

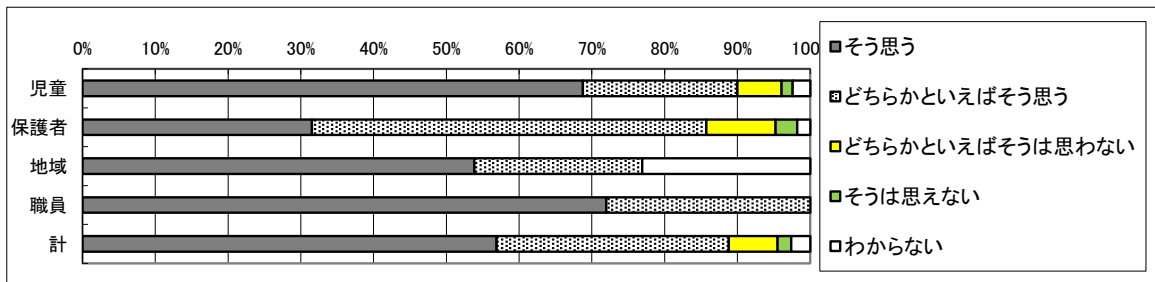
子供たちは楽しく、充実した学校生活を送っていると思うか。（保護者・地域・職員）



肯定的回答の割合は、全体で見るとここ数年減少している。否定的回答をしている児童が増加していることを考慮し、児童の様子をよく観察し、保護者と連携を図りながら、どの子も前向きに学校生活を送れるように支援する必要がある。

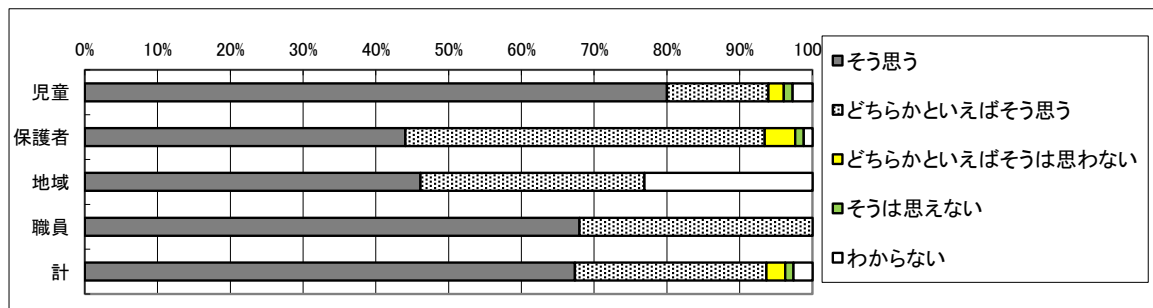
10 学校や先生は「いじめ」がないか、あななたちを見守っているか。（児童）

学校はいじめ対策や対応をしていると思うか。（保護者・地域・職員）



児童の肯定的な回答の割合は昨年度と同程度である。保護者の肯定的な回答の割合は増加している。集団生活をしている以上トラブルはつきものであるが、いじめに発展しないように「どの学校でも発生するもの」との認識をもって対応にあたらなければならない。今年度は、いじめに関する出前講座を行ったり、関係する職員による小委員会を行ったりして対策している。今後もトラブルが発生したとき、きちんと状況を把握し、家庭への連絡を密にしていきたい。

11 学校や先生は、あなたたちを災害や危険なことから守り安全な生活ができるように気をつけているか。（児童） 学校は防災や防犯、子供たちの安全を確保することに関して、対応や対策をしているか。（保護者・地域・職員）



これまで不審者対応を含めた避難訓練を学期1回以上行っている。地域の行事が中止になる中、地域の防災訓練が行われ、参加する児童が多くいた。災害はいつでも起こりうるため、現実的な各種訓練・対策を講じなければならない。随時、危機管理マニュアルを見直すこともできた。6月の水害を受けて、大雨に対する学校としての対応も含めて今後も不備な点があればご指摘いただき、改善していきたい。